



ABEST21 e-News

No.75, April 2015

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

=====

2015年4月

- ・04日：インドネシア・マカッサル（Makassar）の Universitas Hasanuddin を訪問
- ・06日：インドネシア・マナド（Manado）の Universitas Sam Ratulangi を訪問
- ・07日：インドネシア・マラン（Malang）の Universitas Brawijaya でセミナーを開催
- ・09日：マレーシア・クアラルンプール（Kuala Lumpur）の Management & Science University でセミナーを開催
- ・09日：マレーシア・クアラルンプール（Kuala Lumpur）の Malaysia Qualifications Agency を訪問
- ・23日：新横浜・東芝総合人材開発株式会社で“Toshiba Case Writing Project”の打合せ
- ・23日：東京・南青山の ABEST21 でセミナーを開催
- ・24日：東京・南青山の ABEST21 で「分野別認証評価機関ネットワーク機構」会議を開催

1. マネジメント教育の質保証 -22

=====

ビジネススクールのラーニングアウトカムと教育の質保証について

経営専門職大学院（ビジネススクール）は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的としている。それ故、その教育のアウトカムは学生が MBA プログラムの履修により習得すると期待されている知識・技能を企業等組織で適切に活用しうる能力と定義することができる。

しかし、企業の品質管理と異なり学生は製品ではないので、すべての修了生が同質の能力を身に付けてくるとは限らない。また、修了生の働く職場の環境により同じ能力を活用しうる保証もない。例えば、ある企業が社員を海外のビジネススクールに派遣した場合、帰国後そこで習得した知識・技能が活用されるに相応しい部署にその社員が必ず配属されてくるとは限らないので、アウトカムの計測は難しい。

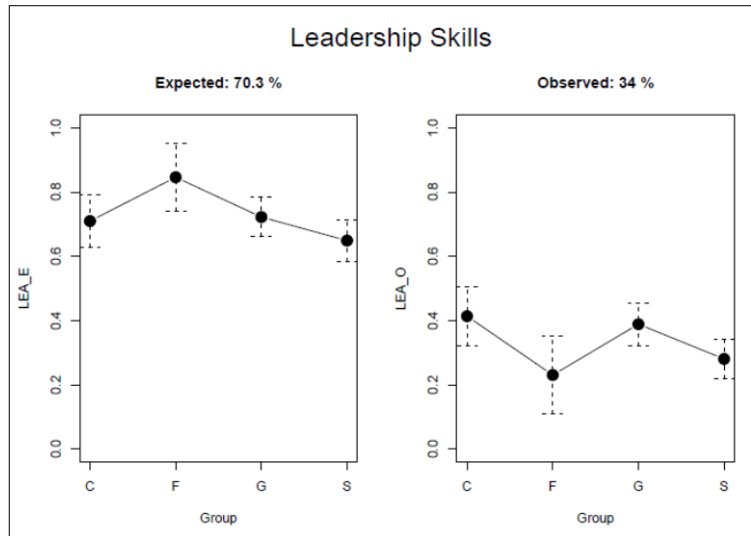
ABEST21 はビジネススクール教育のアウトカムを調べるために、下記の調査研究を実施した。

- 1) “Improving Quality of Management Education”-Company Needs for Management Education in Business Schools in Asian-Pacific Countries, ABEST21, 2008 (ISBN 978-5-903148-31-8)
この調査研究はビジネススクールの教育に対する企業ニーズを調査したもので、7ヶ国7大学が参加した国際調査研究プロジェクトである。この調査では、例えば、企業の MBA 学生に対する「経営戦略思考力」の期待値と企業の MBA 取得者に対する観測値との間に大きなギャップがあることが分かった。これは、企業は MBA 教育における「経営戦略思考力」の涵養に高い期待値をもっているにも関わらず、MBA 取得者の「経営戦略思考力」の観測値は大変低いという結果

である。問題はその後調査でビジネススクール側の「経営戦略思考力」を涵養する教育のあり方にあることが判明した。

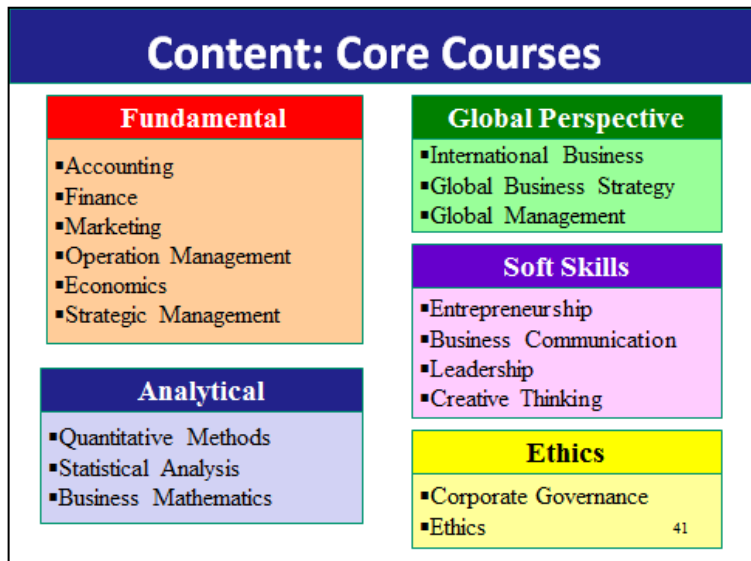
2) “Competencies of Management Professionals”, ABEST21, 2010 (ISBN 978-4-905204-00-8)

この調査はアジアの8ヶ国13大学が参加した国際的な調査研究で、ビジネススクールの基本的な目的である「マネジメント力に優れたマネジメント人材の育成」に求められる力量は何かを調査したものである。調査において、MBA 取得者に期待する力量を、「リーダーシップ能力」、「問題解決能力」、「意思決定能力」、「戦略思考能力」、「数量的能力」、「分析思考能力」と回答した企業が過半数あった。そのなかで、“Leadership Skills”の回答をみても、教員 (F) の MBA 学生に対する期待値 (図の左) と MBA 取得者の観測値 (図の右) に大きなギャップがあることが示されている (p.7)。これは MBA 取得者に“Leadership Skills”のないのが分かっているために MBA 学生に高い期待値をもっていると読み取れる。図表のグラフ下の C=Corporations、F=Faculties、G=Graduates、そして S=Students である。



3) “Enhancing the Quality of Business Management Education in a Globalized World”, ABEST21, 2012 (ISBN 978-4-905204-01-5)

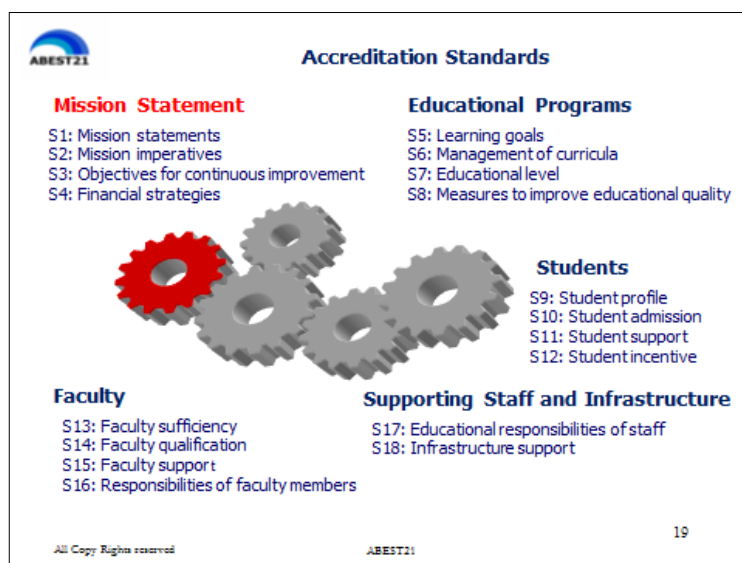
この調査研究は、「マネジメント人材の力量」の調査研究の成果に基づいて、マネジメント人材に期待される能力を涵養していくために必要なカリキュラムは何か、それを教授していく最適な授業方法は何かを調査したものである。調査結果は基本科目群、分析科目群、グローバル科目群、ソフトスキル科目群そして倫理科目群に必要な学科目が示されている。



ABEST21 は、この一連の調査研究から、ビジネススクールのアウトカムは、MBA 取得者に対して回答企業の過半数が期待した力量である「リーダーシップ能力」、「問題解決能力」、「意思決定能力」、「戦略思考能力」、「数量的能力」、「分析思考能力」を総称して「マネジメント力」と云うならば、まさにこの「マネジメント力」を産み出す MBA 教育システムの有効性について確認していかなければならない。

それ故、ビジネススクールは MBA 教育システムの自己点検評価により教育の質維持向上を図る問題点を検出していくだけでなく、修了生の力量を観測していく仕組み、また、カイゼンを推進していく PDCA サイクルを稼働させていく仕組みについても検証し、トータルな教育システムを構築していかなければならない。ABEST21 は、ビジネススクールのこの分析を確認し、アウトカムの保証をステークホルダーにしていくことがわれわれの責務ではないかと考えている。

そのために、ABEST21 は、ビジネススクールの「教育研究上の目的」において育成されるべき人材像が明確に描かれているかどうかを確認し、この人材育成を主軸に教育システムが構築されているかどうかを検証していく。周知の如く、システムは相互に関連する構成素の一群であるので、「教育研究上の目的（Mission Statement）」を中核にした「教育課程等（Educational Programs）」、「教員（Faculty）」、「学生（Students）」そして「施設設備（Supporting Staff and Infrastructure）」の各構成素が相互関連し約束したアウトカムを産み出すシステムとなっているかどうかを、



下記の評価基準でチェックしていくことが重要と考えている。

- ・「教育研究上の目的」の明確な規定と明文化（基準 1）、
- ・学習目標の明確化（基準 5）、
- ・教育課程の体系的な編成（基準 6）、
- ・学習目標の達成のための教育水準の明確化（基準 7）、
- ・組織的な教育課程の改善取組（基準 8）、
- ・本教育課程の教育を受けるに望ましい学生像の明確化（基準 9）、
- ・必要な教員組織の整備（基準 13）、
- ・必要な教育上の指導能力を有する教員の任用（基準 14）、そして
- ・必要な施設及び設備等の整備（基準 18）

等に関する自己点検が重要になってくる。

ABEST21 はビジネススクールの自己点検評価を確認するだけでなく、修了生の力量についての定期的な観測値を得るためにステークホルダーの意見聴取システムの開発、さらに改善すべき課題を速やかに解決していくシステムの開発等が不可欠となってくることをアドバイスしていかねばならない。（伊藤 文雄）

2. General Information

1) 10 周年プログラムについて

既に、案内状に記載されている通り、ABEST21 は 10 年の星霜を一つの節目としてホテルニューオータニ（Hotel New Otani）とホテルマウント富士（Hotel Mt. Fuji）で式典及びレセプションを開催いたします。プログラムは下記のとおりです。

第一日（7月6日）は、午後2時より「東芝科学未来館（Toshiba Science Museum）」で最先端科学技術による製品開発の実情を学びます。

第二日（7月7日）は、ホテルニューオータニで創立 10 周年記念式典を行い、開会挨拶、認証評価証書、新会員証書、名誉会員証書及び功労賞等の授与、来賓挨拶、ABEST21 の過去と未来、閉会挨拶のプログラムを予定しています。午後は東京から山中湖に移動し、ホテルマウント富士（Hotel Mt. Fuji）でレセプションを開催し、ABEST21 の過去と未来を語り合います。

第三日（7月8日）は、世界遺産の富士 5 合目までバスで行き、散策して帰京いたします。

この記念式典にはアセアン諸国から多くの出席者があり、またイスラム教のラマダンの期間内

ですので、出席者のご理解とご協力をいただきます。

2) 新 Executive Committee について

前号では会長および副会長の人事についてお知らせいたしました。次の 10 年に向けて直面する諸問題を解決していくために、2015 年度の Executive Committee を下記の委員で構成していきます。

- ・ Fumio Itoh (ABEST21, Japan)
- ・ Ilker Baybars (Carnegie Mellon University, USA)
- ・ Oleg Vikhanskiy (Moscow State University, Russia)
- ・ Robert Sullivan (University of California San Diego, USA)
- ・ Lu Xiongwen (Fudan University, China)
- ・ Candra Fajri Ananda (University of Brawijaya, Indonesia)
- ・ Ming Yu Cheng (Tank Abdule Rahman, Malaysia)

3) MQA の訪問について

4月9日、Malaysia Qualifications Agency (MQA) をマレーシア・Management & Science University の President の Professor Dato' Wira Mohd Shukri ab Yajid と Dean の Professor Dr. Ali Khatibi と共に訪問いたしました。新しく CEO になられました Dato' Prof. Dr. Rujhan bin Mustafa (左から2人目) と面会し、ABEST21 の教育の質保証活動とこれまでのマレーシアのビジネススクールに対する認証評価活動と 2015 年 3 月に認証評価したマレーシア関係の下記 4 大学の報告をいたしました。



- ・ Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA (UiTM)
- ・ Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM)
- ・ Putra Business School, Universiti Putra Malaysia (UPM)
- ・ Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia (UUM)

4) Universitas Hasanuddin の訪問について

4月5日、インドネシア・スラウェシ島(セレベス島)のマカッサル(Makassar)に設置されています国立大学のハサヌディン大学(Universitas Hasanuddin)を訪問いたしました。提出を予定している ABEST21 の認証評価計画(Accreditation Plan)について Dean Prof.Dr. Gagaring Pagalung, CA (写真前列左)及び認証評価タスクチームにオリエンテーションを行いました。



5) Universitas Sam Ratulangi の訪問について

4月6日、インドネシア・スラウェシ島（セレベス島）のマナド（Manado）に設置されている国立大学の Universitas Sam Ratulangi を訪問いたしました。学長の Prof. Dr. Ir. Ellen J. Kumaat, MSc, DEA（写真中央）及び学部長の Dean David Paul Saerang（写真右）とこれからのインドネシアの持続的経済発展を支えていくマネジメント人材の育成がビジネススクール教育の大きな役割であることと、そのマネジメント教育の質保証をステークホルダーにしていくことが ABEST21 の責務であることの理解をいただきました。



3. Quality Assurance Information

1) 2014 年度認証評価証の授与について

認証評価証の授与は、2015年7月7日、ホテルニューオータニで開催されます創立10周年記念式典で行われます。認証校は8校で、インドネシア1校、日本2校、マレーシア4校、そしてタイの1校です。

認証校

- 1) Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Indonesia
- 2) Graduate School of Innovation & Technology Management, Yamaguchi University, Japan
- 3) Institute of Business and Accounting, Kwansai Gakuin University, Japan
- 4) Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Malaysia
- 5) Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia, Malaysia
- 6) Putra Business School, Universiti Putra Malaysia, Malaysia
- 7) Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia, Malaysia
- 8) Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Thailand

2) Accreditation Seminar の開催について

2015年度前期のマネジメント教育の質保証のためのセミナーを、インドネシア、マレーシアそして東京の三か所で実施いたしました。2014年度の審査の過程において確認されましたカイゼン事項に基づいた評価システムの一部改正等についての説明が行われました。

(1) インドネシア・マランセミナーの開催について

4月7日、マラン（Malang）市に設置されているブラウィジャヤ大学（Universitas Brawijaya）で、2015年度に Accreditation Plan および Self-Evaluation Report の提出を予定しているビジネススクールを対象に、Dean Candra Fajri Ananda の司会によりセミナーが開催されました。

2015年度においては、多くのビジネススクールが第二ステージの審査にはいるために多くの参加者があり、2015年度より分析を求められている Globalizing the



School's Management Education と Humanizing the School's Management Education との関連について説明をしてきました。

(2) マレーシア・クアラルンプールセミナーの開催について

4月9日、クアラルンプール（Kuala Lumpur）市に設置されている Management & Science University のセントラルキャンパスで、IIUM の Director Osman-Gani の司会により、2015 年度に Accreditation Plan および Self-Evaluation Report の提出を予定しているビジネススクールを対象にセミナーが開催されました。

2015 年度においては、多くのビジネススクールが第 2 ステージの審査にはいるために多くの参加者があり、2015 年度より分析を求められている Globalizing the School's Management Education と Humanizing the School's Management Education との関連についてのオリエンテーションが行われました。



(3) Tokyo セミナーの開催について

4月23日、ABEST21 事務所で維持評価を目指す 2 校を対象にセミナーが開催されました。維持評価は初審評価の更新に係るもので、その有効性が 5 年で終了する前に受審し、SER で分析されたカイゼン課題が計画どおり履行されてきたかどうかを、また実行計画の履行の過程において新しく発見された課題の履行につて、それぞれの報告が求められていくことについての説明がなされました。

(4) 2015 年度認証評価の締め切りについて

2015 年度の認証評価の審査のための、「自己点検評価報告（Self-Evaluation Report）の締め切りは 6 月末、そして「認証評価計画（Accreditation Plan）」の提出締め切りは 8 月末です。

(5) 「分野別認証評価機関ネットワーク機構」会議の開催について

4月24日、東京・南青山の ABEST21 で第 4 回「分野別認証評価機関ネットワーク機構」会議を開催いたしました。出席者は公益財団法人日弁連法務研究財団認証評価事務局長の今泉亜希子弁護士、本田宗哉弁護士、国際会計教育協会長の橋本尚教授、文部科学省の高等養育局専門教育課専門職大学院室推進係長の畑盛斗氏で、専門職大学院の各分野、法科大学院、会計大学院及び経営大学院の 2014 年度分野別認証評価結果に基づく諸問題についての意見交換をいたしました。

4. Global Knowledge Network Information

1) Indonesia Committee の New Co-ordinator について

Dean Candra Fajiri Ananda のインドネシア委員会 Co-ordinator の任期満了（1 年任期）に伴い、次期 Co-ordinator に Universitas Indonesia の Faculty of Economics and Business の Dean Ari Kuncoro が就任いたしました。任期は、2015 年 6 月 1 日～2016 年 5 月 31 日です。Dr. Ari Kuncoro は、1986 年にインドネシア大学を卒業し、1990 年にミネソタ大学大学院で開発経済学専攻を修了し、1994 年にブラウ



ン大学で博士課程を修了しました。専門分野は金融経済学です。

2) Malaysia Committee の New Co-ordinator について

Director Osman-Gani のマレーシア委員会 Co-ordinator の任期満了（1年任期）に伴い、次期 Co-ordinator に Universiti Sains Malaysia の Graduate School of Business の Dean Sofri Yahya が就任いたしました。任期は、2015年6月1日～2016年5月31日です。Dean Sofri Yahya は、Eastern Michigan University で会計学を専攻し学士号を受け、イギリスの University of Southampton で会計とマネジメントの修士と博士の学位を取得しました。1988年に卒業後、企業に勤務し会計及び予算等のマネジメントに携わり、1990年に会計事務所に移り税理士として勤務し、1988年にUSMで学校経営に従事し、2008年より Graduate School of Business でビジネス戦略や会計について教鞭をとってきました。



5. Joint Research Projects Information

=====

Toshiba Corporate Governance Case Writing Project について

ABEST21 Case Writing Research Project- “Toshiba Corporate Governance” の調査研究実行委員会のメンバーが決まりました。

Case Writing Research Standing Committee の常任委員は ABEST21 の Executive Committee の委員、Research Division の委員、そして東芝総合人材開発株式会社社長金井淳氏とで組織することにいたしました。

- Mr. Jun Kanai, Representative Director President, Toshiba Human Resources Development Corporation
- Fumio Itoh, ABEST21
- Executive Secretary Ming-Yu Cheng
Professor, Faculty of Accountancy & Management, Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia
- Director Oleg Vikhanskiy
Dean, Lomonosov Moscow State University Business School, Lomonosov Moscow State University, Russia
- Deputy Director Ken Kaminishi
Executive Advisor to the President, Professor, Graduate School of Innovation & Technology Management, Yamaguchi University

“Toshiba Corporate Governance” の調査研究実行委員会は下記のメンバーで構成することにいたしました。

Liaison Officer:

- Noritaka Kimura
Chief Specialist, Diversity & Talent Management Group, Human Resources and Administration Div., Toshiba Corporation

Co-ordinator

- Tee Keng Kok
Senior Lecturer, Putra Business School, Universitas Putra Malaysia, Malaysia
- Asli Colpan
Associate Professor, Graduate School of Management, Kyoto University, Japan

- Sergei Shaposhnikov
Senior Lecturer, Lomonosov Moscow State University Business School, Lomonosov Moscow State University, Russia
- Lisa Fitriyanti Akbar
Lecturer, Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Indonesia

6. Membership Information

=====

1) Faculty of Economics and Business University of Lampung, Bandar Lampung, Indonesia

ランプン大学 (Universitas Lampung、以下 UNILA) は、インドネシアのスマトラ島の Bandar Lampung に設置されています。ランプン地区の地方自治体により 1960 年代初期に創設され、当初は経済学部と法学部の 2 学部がランプン地区パレンバンにあるスリウィジャヤ大学 (Universitas Sriwijaya) の分校として開講されました。1965 年に UNILA は、国立大学に改組され、1965 年 9 月 23 日を正式に創立日と制定されました。以降目覚ましい発展を遂げ、現在では経済経営学部、法学部、教育学部等の 8 学部、2 博士前期後期課程、30 修士課程、47 学部課程、及び 26 のディプロマプログラムが開講されています、21,000 人以上の学生が在籍しています。博課程も新たに開講され、ますますの発展が期待されています。UNILA は バンダール、ランプン地区に約 63,5 ヘクタールのキャンパスを有しています。



2) Faculty of Economics and Business, Universitas Sebelas Maret, Surakarta, Indonesia

Universitas Sebelas Maret (UNS) は、インドネシア、ジャワ島中部に位置するスラカルタ郊外にあり、現在約 32,400 人の学生を有する 1976 年に創立された国立大学です。2011 年には 4 校の海外の大学よりインドネシアトップ 7 位の大学に選ばれました。Faculty of Economics and Business (FEB-UNS) は大学創立時に設立され、現在 8,000 人以上で構成されるアルムナイのネットワークを通じて国内の発展に重要な役割を担っています。国際的認知を得るべく、FEB-UNS は、米国インディアナ州パデュー大学、オーストラリアのカーティン大学、オランダのトゥエンテ大学、やフランスリモージュ大学等と長期的な協定を締結し、共同研究や単位互換制度、博士課程の一定期間中、協定校において論文指導を受けたり、現地調査を実施したりすることが出来る制度のサンドウィッチプログラム、教員の相互派遣などを推し進められています。海外の著名なジャーナルへの論文発表を補助するための 2014 年には、FEB-UNS は 2014 Annual Conference of Asian Finance Association の主催校に任命されました。



この度、Dr. Hunik Sri Runing Sawitri (写真左) が Faculty of Economics and Business, Universitas Sebelas Maret の研究科長に就任されました。任期は 2015 年から 2019 年までの 5 年間です。Dr. Hunik Sri Runing Sawitri は、これまで Department of Management of the School

の Head を務められており、大学内の新給与体制の導入に貢献されました。Dr. Hunik Sri Runing Sawitri は、人材マネジメントの分野でインドネシア最古の国立大学であるガジャマダ大学より博士の学位を授与されました。Dean Hunik Sri Runing Sawitri 研究科長は、国際的なビジネススクールとして認知されるべく、FEB-UNS の国際化を推進されていく事をミッションと挙げられています。